

CASBEE[®] とっとり

■ 複用評価マニュアル: CASBEE-新編 (建築版) 2009年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NC5_2009(v.3.2)

評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	源吉兆庵 米子工場		階数	地上2F
建設地	鳥取県米子市		構造	S造
用途地域	準工業地域、火地域		平均居住人員	150人
気候区分	地域区分IV		年間使用時間	2,080時間/年
建物用途	工場		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年9月	予定	評価の実施日	2013年2月15日
敷地面積	8,271 m ²		作成者	内木忠稔
建築面積	2,402 m ²		確認日	
延床面積	3,889 m ²		確認者	

外観パース等
 図を貼り付けたときは
 シートの幅を調整してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)	2-3 ライフサイクルCO ₂ (環境化影響チャート)
----------------------------	-----------------------	--

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境負荷 L

Q1 室内環境

Q2 サービス性能

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

□建設 □修繕・更新・解体 □運用

参照値

評価対象

81%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物 (参照値) と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.9

音環境 温度環境 光・視環境 空気質環境

信頼性 耐用性 対応性

生物環境 まちなみ 地域性・

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

建物の 自然エネ 設備システ 効率劣

水資源 非再生材料の 汚染物質

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	その他	
食品工場として安全性、衛生環境を強化する	注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
快適な作業環境を確保する。		
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

4 重点項目		
重点項目	得点	取組み度
農産材利用の推進	点 / 15点	
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	点 / 25点	
自然エネルギー変換利用の推進	点 / 25点	
敷地内緑化の推進	10点 / 25点	
合計	10点 / 90点	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・運送から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される